

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査について(結果のポイント)

令和7年9月29日
教育課程部会
国語ワーキンググループ
資料 8

調査の概要

【目的】

小学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした児童の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

【時期、対象学年及び教科等】

○調査時期：令和5年2月6日（月）から令和5年3月3日（金）

○調査対象：公立小学校 1,170校（義務教育学校前期課程含む） ※全学校の約7.1%、無作為抽出
実施児童数（延べ） 120,378人

○内容：各教科で、①今回の改訂の基本方針に関する事項、②各教科等の主な改善事項（今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項）、③従来、課題とされている事項の視点に基づくペーパーテスト調査を実施するとともに、一部教科で実技調査を実施。あわせて、児童、教師、学校長を対象とした質問調査を実施。

（教師、学校長については、オンライン形式にて実施。）

・ペーパーテスト調査：第3～6学年 国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育（運動領域、保健領域）、外国語（英語）

・質問調査（学校）（児童、教師）：第2～6学年 生活、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動、外国語活動

・実技調査：第6学年 図画工作、家庭、体育（運動領域）、外国語（英語）

(主なポイント)

各教科のペーパーテスト調査の結果から

○「知識・技能」について、事実に基づく「知識」は一定程度の定着が見られるものもある一方、「知識」の概念としての習得や、習得した「知識」を日常生活に当てはめたり、現実の事象と関連づけて理解することには一部に課題があると考えられる。

○「思考力・判断力・表現力等の育成」の観点から、例えば児童が具体的な問いを見いだす点等については、定着が見られるものもあると考えられる一方、目的に応じた課題解決、自分の考えや根拠を明確に説明するといった点については、課題があると考えられる。

生活、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の質問調査の結果から

○質問調査では、学習状況や学校生活等について概ね肯定的な回答が多く見られるが、同様の趣旨の項目において、教師の認識と児童の受け止めに差があるなど、課題が一部で見られる。

教育課程全体に係る質問調査

○主体的・対話的で深い学びや、資質能力の3つの柱、見方・考え方などの学習指導要領が提唱する基本的な考え方については、現場の教育課程や学習指導の改善等に良い効果を与えたとの回答が多く見られる。

○学習指導要領の趣旨実現を妨げる要素としては、多忙化や人員確保、研修時間の確保などの回答が多い。

○標準授業時数について、教育課程編成に係る学校の裁量を広げることについては、多くの学校が賛成。年間授業時数を確保した上で、教科間の授業時数の調整を可能とするような取組を行ってみたいとする学校が多い。

ペーパーテスト調査等の概要

● 調査実施校：小学校 1,170 校 実施児童数 120,378人（延べ数）

※1教科1問当たり、3,000人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。

● データを見るにあたって

○「1. 主な改訂のポイント」「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性」「4. 調査問題例」の4構成と「4」に対応する問題を別紙（問題例）で添付。

○「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができています」もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「4. 調査問題例」及び別紙において問題例（質問項目例）が示されている。

※実技調査については、対象教科（図画工作、家庭、体育（運動領域）、外国語（英語）のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。（1教科当たり350人程度：10校程度）

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果について（国語）

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目標に改善・充実。
 - ・学習の基盤となる言語能力等を支える語彙、急速に情報化が進展する社会における情報の扱い方等に関する〔知識及び技能〕の指導事項を改善・充実。
 - ・ただ活動するだけではなく、活動を通じてどのような資質・能力を育成するのかを示すため、〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において学習過程を一層明確化し、特に自分の考えを形成する学習過程を重視。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 語彙については、様子や行動等を表す語句について相当数の児童ができている設問がある一方で、思考に関わる語句について課題があると考えられる設問がある。
- 情報の扱い方については、必要な語句などの書き留め方について相当数の児童ができてい一方で、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方について課題があると考えられる。
- 「考えの形成」については、「書くこと」の領域において、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられる。また、「読むこと」の領域において、文学的な文章を読む際に自分の考えをもつことについては相当数の児童ができてい設問もある一方で、説明的な文章を読む際に自分の考えをもつことについては課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・適切な言語活動を通して、生きて働く「知識及び技能」と未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」を相互に関連させながら資質・能力を育成する指導の充実を図る。
 - ・「考えの形成」については、文章を読んで理解したことに基づいて自分の知識や経験等と結び付けて考えをまとめる指導や、自分の考えを明確にして書き表し方を工夫する指導等の充実を図る。

4. 調査問題例（ペーパーテスト 小学校/国語）

「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」の問題例（別紙1参照）

- 環境により暮らし方について調べ、家の人たちを招いてスピーチで提案する言語活動の中で、自分の考えが伝わるように資料活用の仕方を工夫するため、情報を整理し図で表すことができるかを問う問題を出題。【通過率 59.0%】

「文学的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例（別紙2参照）

- 物語を読み、その魅力をまとめるという言語活動の中で、文章を読んで理解したことに基づいて、物語全体の魅力について自分の考えをもつことができるかを問う問題を出題。【通過率 80.5%】

「説明的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例（別紙3参照）

- 生き物について書かれた説明的な文章を読み、考えるという言語活動の中で、文章を読んで理解したことに基づいて、疑問に思ったことやもっと知りたいことについての自分の考えをもつことができるかを問う問題を出題。【通過率 40.4%】

「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方」の問題例

【通過率 59.0%】

大豆ミートが環境にやさしい理由

理由①
● 温室効果ガスを減らせる
● 水の使用を減らせる
● 森林伐採を減らせる

理由②
● 栄養満点
● 保存しやすい

大豆ミートは環境にやさしい

具体的には……
➢ 温室効果ガスを減らせる
➢ 水の使用を減らせる
➢ 森林伐採を減らせる

肉を大豆ミートに代えるよさ

よさ①
生産する際の温室効果ガス、水の使用、森林伐採を減らせる

よさ②
環境にやさしい

➢ 温室効果ガスを減らせる
➢ 水の使用を減らせる
➢ 森林伐採を減らせる

例えば
大豆ミートは環境にやさしい

石川さんは、スピーチの練習を聞いた友達から、「調べたこと1」の《資料B》は大豆ミートがどのくらい環境にやさしいかが伝わりやすくなる資料にした方がよいのではないかとというアドバイスをもらいました。そこで、「調べたこと1」の内容に合わせて《資料B》を作り変えることにしました。次の1から4の中から、《資料B》に用いる資料として、最もふさわしいものを一つ選び、その番号を□の中に書きましょう。

1

2

3

4

【正答】
2

大豆ミートとは

大豆ミートを知っていますか。

《資料A》を示す

大豆ミートとは、大豆を加工し、見た目や食べた感じを肉に近づけた食品のこと。

環境にやさしく、すぐれた食材として注目されている。

調べたこと1

大豆ミートのよさ①……環境にやさしい

《資料B》を示す

食肉の場合に比べ、三つのことを減らすことができる。

温室効果ガス(CO₂)
水の使用
森林伐採

大豆ミートを取り入れることは、地球全体の環境問題に取り組むことにつながる。

調べたこと2

大豆ミートのよさ②……環境にやさしいこと以外

《資料C》を示す

大豆ミートには、環境にやさしいこと以外にもよいところがある。

(二つのよさをかんとんに説明する)

↓食材として取り入れやすい。

実際にどれくらい食べられているか、食べた人の感想はどうかをクラスの人にアンケートした。

《資料D》を示す

食べたことがある 五人、ない 一人

感想「とてもおいしい」三人、「まあおいしい」二人

「あまりおいしくない」「おいしくない」は0人

↓あまり広がついていないが、食べた人は全員おいしいと感じていることが分かる。みんなに食べてもらいたい。

大豆ミートに加工するまでに手間がかかったり、栄養のかたよりがあるという研究結果があったりするなど、注意する点もまだあるが、環境の面から見るとすぐれた食材だと考える。

大豆ミートを取り入れるようにして、環境にやさしい暮らし方をめざす一つの方法として提案したい。

クラスでのアンケート結果

食べたことはありますか？

ある (5人) ない (1人)

食べた感想は？

とてもおいしい (3人) まあおいしい (2人)

《資料D》

そのほかの大豆ミートのよさ

環境にやさしいだけじゃない！

そのほかにも

・栄養が豊富
・保存しやすい

《資料C》

大豆ミートは環境問題への取り組みになる

大豆ミート

大豆を加工し、見た目や食べた感じを肉に近づけた食品

《資料A》

石川さんの学級では、環境にやさしい暮らし方について調べ、家の人たちを招いてスピーチで提案することになりました。石川さんは、大豆ミートについて調べて、提案することになりました。

石川さんは、資料を画面に映しながらスピーチの練習をしました。次は、石川さんの《発表メモ》と画面に映した《資料A》から《資料D》です。

国語 第6学年・考えが伝わるように資料活用の仕方を工夫するため、情報を整理し図で表すことができるかを問う問題

この問題を解く上では、情報と情報との関係を判断し、図で表す資質・能力が必要となる。

ここでは、【発表メモ】「調べたこと1」に示された「環境にやさしい」という情報と、「温室効果ガス」「水の使用」「森林伐採」という情報との関係を判断し、適切に図示している資料を選択することが必要。

「文学的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例

【通過率 80.5%】

国語 第6学年・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもつことができるかを問う問題

この問題を解く上では、以下のような資質・能力が必要となる。

- ①文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら理解したことについて、表現すること。
- ②文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、表現すること。

ここでは、物語全体の魅力をまとめることが必要。

中山さんは、物語を読み、その魅力をまとめようとしています。本文を読んで、あとの問題に答えましょう。

中山さんは、この物語全体の魅力をまとめようとしています。あなたならどのようにまとめますか。次の【条件】に合わせて書きましょう。

【条件】

- ① この物語には、どのような魅力があると感じたか自分の考えを書くこと
- ② この物語のどこから①のように感じたか分かるようにまとめること
- ③ 六十文字以上、百四十文字以内で書くこと

※◆の印から書きましょう。とらえ方を変えないで、続けて書きましょう。

本文省略

*魅力：物語のよさや読んでひきつけられたこと

〈正答例〉

・物語が進むにつれて、主人公の雨に対するとらえ方が変わっていくのがみ力だと思いました。最初は、雨がゆううつでいやなものとして書かれています。洋品店やあわむらさき色のドレスとの出会いによって雨の中を歩くのが楽しみになるなど、雨がよいものに変化していきます。(127字)

「説明的な文章を読む際に自分の考えをもつこと」の問題例

【通過率 40.4%】

国語 第4 学年・文章を読んで理解したことに基づいて、
自分の考えをもつことができるかを問う問題

この問題を解く上では、以下のような資質・能力が必要となる。

- ①文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら理解したことについて、表現すること。
 - ②文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを形成し、表現すること。
- ここでは、疑問点や更に知りたい点などを見いだすことが必要。

11

生き物について書かれた文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

本文省略

(三) 本文を読んで考えたことを 次の【じょうけん】に合わせて書きましょう

【じょうけん】の

- ① タコの知能がどれほど高いかということについて、本文を読んで分かったことを書くこと
- ② ①に書いたことと関連させて、疑問に思ったことやもっと知りたいことを書くこと
- ③ 五十文字以上、八十文字以内で書くこと

※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

[illegible]

正答例

・タコがイカやウミヘビのふりをして身を守ることが分
かりました。イカとウミヘビはすがたがちがうのに、
どうやってそっくりになるのか見てみたいと思いまし
た。(74字)